

2021年度 事業報告

社会福祉法人 厚別共栄福祉会

法 人

1. 会 議

理事会

- 2021年5月26日 2020年度 第二次補正予算・2020年度 法人及び施設の事業報告・決算報告・評議員選任解任委員の改選について・役員改選後の理事長の推薦について・評議員会の議案について・内部監査報告・評議員の改選について
- 2021年11月17日 2021年度 第一次補正予算について、給与規定の変更について、コロナ補助金のかかりまし経費について、12月ボーナスについて、第3回内部監査報告、札幌市指導監査について、ワム借入金の返済について、次年度職員の異動・採用募集について
- 2022年3月30日 2022年度収支予算・事業計画、2022年度給与決定、内部監査報告、札幌市指導監査について、特例処遇改善補助金による給与規定の変更について、定款変更の必要について、5月理事会日程確認について

評議員選任解任委員会

- 2021年5月10日 評議員の改選に伴う、評議員再任についての審議

評議員会

- 2021年6月26日 2020年度第2次補正予算、事業報告・決算報告の審議、役員改選について、評議員の再任報告、評議員選任・解任委員の再任報告、園舎一年点検の終了報告

内部監査

- 2021年5月22日 経理・事業・運営一般について・決算報告書の確認・2020年度資産総額の確認（書面による）
- 2021年7月31日 令和3年4月から6月までの経理状況、職員の処遇状況について確認、園内における事故対策・対応の聞き取り、職員のコロナワクチン接種状況の確認、札幌市に提出の監査資料の確認
- 2021年10月24日 令和3年7月から9月までの経理状況、園舎新築時の借入金の返済状況の確認、登降園管理システム導入について確認、新型コロナウイルス関係補助金の活用について確認
- 2022年1月29日 令和3年10月から12月までの経理状況、「保育園重要事項説明書」の確認、今年度退職職員にかかわる補充状況の確認と採用方法の確認、業務委託内容についての聞き取り、施設整備に関する積立計画についての聞き取り、職員募集に関する悪徳商法への注意提案

施 設

1. 職 員

(ア)園長:1名、主任保育士:1名、副主任保育士:1名、保育士:13名、栄養士:1名
用務員パート:2名、調理パート3名、保育士パート6名、保育補助者 1名、
事務パート 1名

(イ)健康診断(特殊健康診断含む)の実施

2. 児童の処遇関係

(ア) 健康診断・・・内科検診－幼児 年2回実施
乳児 毎月1回実施
歯科検診一年1回実施

(イ) 栄養管理・・・札幌市の札幌市保育所給食基準献立に基づき実施。毎月の献立表と共に食育メッセージを載せ、保護者にも興味関心を持ってもらえるよう作成した。栄養士を中心に計画していた給食試食会はコロナの影響で中止とした。収穫祭や保育園での菜園収穫物の調理・試食などもコロナの影響で例年と比べると縮小や変更をしながらではあるが体験することができた。

(ウ) 保育の振り返り・・・元気に遊べる子・きまりを守れる子・思いやりのある子、3本の柱をもって、保育課程・全体の計画に基づき子供たちがのびのびと生活できる「環境」を整え体力・知能の増進を図り、自然と親しみながら情緒豊かで雑草のように心身ともに強靱な子供の保育に努めた。年間を通し、年長・年中・年少のクラスで体操教室・ラジオ体操に取り組むなどして運動機能の発達や体力増進に努めた。

後期には週1回程度の縦割り保育を通して異年齢での関わりや思いやりを育む保育を実施し、2022年度も引き続き継続していく。

年長児が取り組む詩吟については、新型コロナウイルス感染症の影響で例年20回予定のところ13回の実施となったが、少ないながらも発声などに違いがみられたように思える。

又、2021年度の年間行事を主に園評価として3月中に保護者へのアンケートを実施した。

(現在集計中・集計後は例年通り公表予定)

(エ) 延長保育・・・年間を通し、コロナの影響がありなしによって利用人数に変動はあったがそれ以外の部分は通常通り保育を行った。

(オ) 一時保育・・・4月からの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の関係もあり外部からの受け入れが出来ず、未実施の結果となった。

(カ) 行事・・・運動会は、コロナの影響で観客の人数制限、クラスごとの総入れ替え制の方法や内容の縮小を行いつつ実施できた。共栄まつりは例年通りの実施はできず、内容等を昨年と同じく変更し、園内で年長組が主となり他クラスの園児や職員を招き縁日の再現遊びをして楽しむことができた。

お泊り会は園内活動のみの泊まらない「お楽しみ会」という形にして花火を見て終了とした。その他の行事でもコロナの感染防止の観点から人数制限や内容の縮小、検温・換気・消毒を行いつつ実施した。

中止した行事…給食試食会・参観日・組別懇談会(2回のうちの1回全クラス中止で、1回は年長のみ実施)・親子遠足レクレーション・影絵鑑賞。

3. 研修会

札幌市のセンター事業も年3回予定で、ズームでの研修に参加した。また、キャリアアップの研修にもズームで参加して5名が一単位を取得した。

園内研修として、園庭での「外遊びマニュアル」を職員で理解を深めながら基本版の作成をした。会議や打ち合わせの中で園児理解・保育の方法等の理解と確認を行い研修とした。例年行ってきたコミュニケーション会議はコロナ影響下のため注意しながら行った。

4. 園児関係

4月1日は116名と定員以下でのスタートだったが途中入所を受け入れようと思っても職員体制が整わず途中入所を見送ることも多く、年度末には117名で年間を通し定員を下回ったままとなった。年間延べ23887名の保育を実施し、23名の卒園生を送った。コロナウィルスの関係で昨年度同様の卒園式の形をとり無事に卒園式を行った。 累計 1,141名

5. ICT整備報告

厚生労働省からの補助金情報と共に自社の(ネクストビート)園児管理・職員管理ソフトの紹介があり当園でもICTを利用し業務の軽減ができないか実施していく事となった。(1,118,666円の補助)

6. ホームページ

2018年末より当園のホームページを開設。中々こまめな更新はできていないが保育環境の画像や職員募集の情報などのお知らせも公表中。

7. 保護者との連携に関して

(1)組別懇談会・個人懇談会をコロナの状況を見ながら実施し、家庭と保育園との情報交換の場とした

園だより・クラスだよりを毎月発行して、日々の保育に必要な情報や園と家庭の連携を図りつつ、保育を行った。

(2) 各種行事がコロナの影響により、中止・縮小や園児のみの参加になった行事もあり例年通りの保護者とのかかわりが薄くなったように感じ残念な面があった。

(3) 苦情処理体制を整備し、出来るだけ当園のことに関して意見要望等が言いやすい環境を心掛けた。年度末には、より良い保育・保育環境ができるように保護者の方に協力していただきアンケート調査を行った。

8. その他

職員の連携については、昨年度から引き続き年度初めより新型コロナの影響で対応をしていく中、職員間で確認しながら対応を進めることができた。職員同士、話しやすい環境づくりを意識し連携を取ろうとする姿が見られるが、次年度は新しい職員が引き継ぐことが必要。

以上